

# プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

## エチオピア連邦民主共和国 デラ地域開発プログラム(ETH-181725)



女性のための起業支援を受けて食料品店を始めたファンタさん(右)と末娘のヘイマノットちゃん(11歳)



エチオピアの主食インジェラ(イネ科の植物テフで作ったクレープ)とおかずを囲むヘイマノットちゃんの家

### チャイルドストーリー

## 学校にトイレが設置され、 家の近くに保健センターが開設されて 暮らしやすくなりました

デラ地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすヘイマノットちゃんの家には父親がいないため、母親のファンタさんは女手ひとつで4人の子どもたちを養い、育ててきました。生活は貧しく厳しかったと言います。しかし、2007年にヘイマノットちゃんがワールド・ビジョン(以下、WV)のチャイルドとして登録され、教材や服の支援を受けられるようになりました。以前は近くに病院がなく、治療を受けるためには17キロも歩かなければなりませんでした。ADPの支援で家の近くに保健センターができ、そこで医療サービスを受けられるようになりました。ヘイマノットちゃんが通う学校に

は男女別のトイレや、きれいな水が出る水飲み場もできました。

ファンタさんは、ADPが実施した女性向けの小規模ビジネス経営に関する研修に参加し、開業資金の支援も受けて、食料品や飲み物を売る小さな店を始めました。店の経営は順調で、月に500ブル(約2,600円)の貯金ができるようになったと言います。

ヘイマノットちゃんは、食器洗いや水汲み、掃除などの家事だけでなく、店の手伝いもして母親を助けています。「しっかり勉強して、将来は医師になりたい」と明るい笑顔で将来の夢を話してくれました。

教育プロジェクト

教育の質の向上に向けて、学習環境の整備、教師の育成に取り組んでいます

2014年度は、支援地域内の2つの小学校の校舎を新たに建設し、机とイスを導入しました。また、指導に関する教師への研修も強化しました。これらの取り組みにより、国の学力平均を上回る子どもの割合が、2013年の89.3%から2014年度は91.4%にまで増加しました。

障がいを持つ子どもたちの教育改善にも取り組みました。小学校の教師3人に対し、特別なケアが必要な子どもたちへの学習支援についての研修を行うとともに、点字や白杖を使った特別な教材も整えました。その結果、デラ地域で学校へ通う障がいをもつ子どもたちの数は、2013年度の14人から2014年度は52人に増えました。



支援により建設された学校に通う子どもたち



全国学力平均を上回る子どもの割合が**91.4%**に向上

食料確保プロジェクト

小規模灌がいの新たな技術を取り入れ、収穫高が増えました

2014年度も、家畜や種、苗木などの配布に合わせて、農業技術に関するトレーニングを実施しました。また、ローブポンプ（自転車の車輪など身近な材料を使って水を汲みあげるポンプ）を用いた小規模灌がいの新技術を導入し、灌がい農業の規模が拡大しています。

2014年度は、新たに23世帯が家庭菜園を始め、現在は約100世帯が小規模灌がいをしています。彼らはローブポンプによる灌がいを習得し、三期作（年3回土地を使う農業）ができるようになり、その結果、農産物の年間収穫量は2倍になりました。



家庭菜園で野菜を栽培する家族



農産物の年間収穫量が**2倍**に増加

水・衛生改善プロジェクト

安全な水の利用、衛生習慣の改善に力を入れています

2014年度は、15の手掘り井戸と6つの浅井戸を作りました。これらは地域住民に引き渡され、住民の中から選ばれた水管理委員が、井戸の維持管理に関するトレーニングを受けています。新しい井戸ができた結果、支援地域で安全な水を飲むことができる人々の割合は、2013年度の64.4%から、75.6%に増加しました。

また、衛生習慣の改善にも力を入れ、2014年度は野外排泄をなくすためのトレーニングを強化しました。この結果、多くの家庭が地域の人々の助けを借りて庭にトイレを設置しました。2013年度の調査では、トイレを利用している人々はたった40%でしたが、現在は96%にまで増えています。あわせて、灰で作った石鹸を利用した手洗いの習慣も身に付いてきました。



井戸からきれいな水を得られるようになりました



安全な水を使える人の割合が**75.6%**、  
トイレを使える人の割合が**96%**になりました

## 保健プロジェクト

## 子どもと母親の栄養状態の改善に努めています

妊婦や授乳中の母親の栄養状態の改善は、子どもの発育にも大きく関わります。このため2014年度は、妊娠・授乳期の適切な栄養摂取に向けた研修や、0～24カ月の子どもを持つ母親を対象とした、乳幼児への食事の与え方のトレーニングを行いました。この結果、生後6カ月以降、適切な食事をとっている子どもの割合は、2012年には59%でしたが、2014年度は78.9%に向上しました。一方で、適切な食事をとっている母親の割合は22%に留まっています。多くの女性が家事を担うこの地域では、その疲れもあり、妊娠・授乳期であっても、自分の栄養状態にま

で配慮した食事を用意できないのが現状です。母親向けのトレーニングは数多く実施されていますが、なかなか改善が見られず、今後の工夫が必要です。



適切な食事をとる

生後6カ月以上の子どもの割合が

78.9%



看護師から子どもの健康状態についてアドバイスを受ける母親



助産師(右)から妊婦健診を受ける女性



## 支援地域の女性のストーリー

## かまど製造によって家族を養うのに十分な収入を得られるようになりました

支援地域に住むアレミトゥさんは、夫に先立たれ、一人で3人の子どもたちを育てています。子どもたちのうち一人は、WVのチャイルドとして登録され、支援を受けています。アレミトゥさんは、改良かまど（開放部分が少なく燃料を節約できるかまど）を製造する女性グループのメンバーとなり、かまど製造の仕事によって、家族を養うのに十分な収入を得られるようになりました。子どもたちの教育費や衣料品を賄えるようになっただけでなく、将来に備えて貯蓄もできるようになったといいます。「私自身は十分な教育を受けることができませんでしたが、子どもたちにはきちんと教育を受けさせ、良い将来を築けるようにしてあげたいです」と語るアレミトゥさん。たくましく明るい笑顔で家族を支えています。



改良かまどを製造するアレミトゥさん(35歳)

## ADPスタッフ・インタビュー



### Q.ADPでどのような仕事をしていますか。

地域の人々の生計向上のための活動の実施を主に担当しています。また、チャイルドを定期的に訪問して、子どもたちの生活が支援事業によって改善しているかを確認し、問題がある場合は解決の手助けをしています。

### Q.2014年の活動で困難だったことは何ですか。

事業を進めていく上でのパートナーである政府機関の都合で、計画に遅れや変更が出たことです。政府機関と話し合いを重ね、地域の人々の生活に影響が出ないように努力を重ねました。

### Q.この仕事を続ける原動力になっているものは何ですか。

自分を含めたスタッフの働きが、きちんと評価され報われる組織で働けていることです。



デラ ADP スタッフ モラ・アバテ (前列中央)

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



チャイルド・スポンサーに手紙を書くチャイルド

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

## 会計報告

ETH-181725

収支計算書 自 2013年 10月1日 至 2014年9月30日

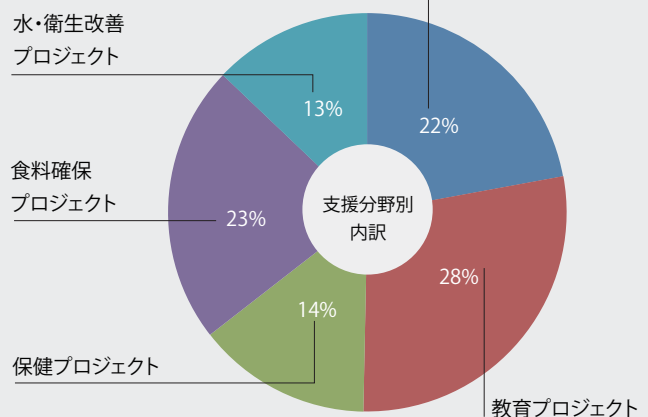
### プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	61,242,143
当期支援額	61,242,143
前期繰越金	3,886,020
プログラム支援額合計	65,128,163

### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,682,552
教育プロジェクト	20,019,270
保健プロジェクト	10,045,715
食料確保プロジェクト	16,052,361
水・衛生改善プロジェクト	9,147,423
プログラム支出額合計	70,947,321
次期繰越額	-5,819,158

### スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
 電話 : 03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)  
 FAX : 03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ : [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)  
 e-mail : [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)